



三重県立名張高等学校
三重県立名張青峰高等学校
三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園
近畿大学工業高等専門学校
英心高等学校桔梗が丘校

高校生を中心とした

名張の美

作品展

主催：名張市教育委員会
主管：名張の美実行委員会
助成：公益財団法人岡田文化財団
協賛：公益財団法人伊賀市文化都市協会
協力：五洋紙工株式会社
お問合せ：名張市教育委員会事務局
文化生涯学習室
☎0595(63)7892

二〇二五年

十月一日【水】～五日【日】

午前九時～午後四時三十分

名張藤堂家邸

三重県名張市丸之内五四―三

【入場無料】

名張藤堂家邸企画事業
公益財団法人岡田文化財団助成事業

【名張藤堂家邸 企画事業】 『高校生を中心とした～名張の美～』

【ご挨拶】

高校生の美術の授業や美術部の部活動で制作される作品を鑑賞できる機会は稀といえます。次代を担う生徒の皆さんが丹精込めて制作された作品こそ、「名張の美」であり、市内5校で美術を専攻する高校生と卒業生の作品を中心に展示できないかと企画しました。今回、若手作家の育成と交流をテーマとして開催するこの事業が、『美』を発表する側・観る側の出逢いの橋渡しに、なれば幸いです。たくさんの方々に、ご高覧いただければ嬉しい限りです。

【高校の紹介】

三重県立名張高等学校 〔出展生徒 18名〕

名張高校の美術専攻は、絵画の専門知識と技術を習得し、創造力や自己表現力を育むコースです。美術の基礎から応用、デッサン、油絵や日本画など、幅広い技法を学ぶことができます。美術系の進路を目指す生徒も多く、皆が粘り強く作品制作に取り組んでいます。

三重県立名張青峰高等学校 〔出展生徒 6名〕

名張青峰高校美術部の主な活動としては、展覧会の企画や参加、各種コンクールへの応募、校内企画への参加（校内常設展示、文化祭への出展、行事の際の看板やパンフレット表紙の制作等）、伊賀地区高校美術部合同スケッチ合宿への参加などを行っています。昨年度は名張市の巡回バス「ナッキー号」のラッピングを名張高校美術部さんと合同で担当し、部員のデザインを絵の具で大きく表現しました。市内を走っているナッキー号を発見したら、じっくり見てみてください。「名張の美」へは、夏のスケッチ合宿作品を中心に展覧予定です。

三重県立特別支援学校 伊賀つばさ学園 〔出展生徒 60名〕

伊賀つばさ学園の高等部には6つの作業班があり、将来の社会生活に向けて、製品の製作等を通して社会人としての態度やマナーを学習しています。リサイクル班はクッションの製作、手芸班は組み紐とさをり織の製品製作、農芸班は野菜の栽培と革製品の製作、窯業班は陶磁器の製作、木工班はスツール等木工製品の製作をしています。サービス班は校内清掃と清掃技能検定に向けた学習をしています。

近畿大学工業高等専門学校 〔出展生徒 117名〕

近畿大学高等専門学校では、学生達が多くの特長知識や技術を学び修得し、日本や世界の未来に繋がる仕事をして活躍しています。美術として学生達に伝えたい事は、名張の自然豊かな環境の中で学びながら知識や技術を融合して、誰もがまだ知らない未来を考え、自分のイメージをどう表現していくのか。自分の個性を最大限に出して作品を制作することの楽しみを知り、その基礎になればと考えています。

英心高等学校 桔梗が丘校 〔出展生徒 7名〕

英心高等学校桔梗が丘校は、『できることから始めよう』をモットーに、生徒一人ひとりの状況に合わせた柔軟なカリキュラムを提供している学校です。大きな特徴としては、生徒の『探求心』を育むことに力を入れている点が挙げられます。一般的な授業だけでなく、地域社会と連携した探究活動も実施しており、生徒たちが地域課題の解決に向けたプランニングなど、実践的な学びを通して成長していく学校です。

【美術部 卒業生の紹介】 ※50音順

市内の高校を卒業され、現在も芸術大学で学ばれている方々の作品を展示

石川 花音 鈴木 芭奈 和田 愛依

【名張の美 実行委員会】

津田親重 Chikashige Tsuda 【日本画】



<在展日>

10/2(木)、4日(土)、5日(日)

角谷英明 Eimei Kakutani 【陶芸】



<在展日>

10/1(水)、3日(金)、4日(土)午後、5日(日)

中内 中 Hitoshi Nakauchi 【組紐】



<在展日>

10/1(水)、3日(金)、5日(日)

◀アートディレクター・デザイナー/HARA DESIGN 原 陽子 フォトグラファー/StudioDUKE 大橋昭彦▶

津田親重
日本画ライブパフォーマンス

10月2日(木) 14時から
名張藤堂家邸にて開催
1m×3mの紙に『牡丹を描く』

